

F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

1. 研究の企画・調整・評価

(1) 道立農業試験場長会議

1) 第1回場長会議

期日：平成16年5月24日(月)13:00～14:45

場所：第二水産ビル 3F 会議室

議題：

①協議事項

・特定防除資材(特定農薬)の委託試験実施に係る考え方について

・平成17年度新規課題設定の考え方(案)について

・平成17年度新規予定課題の調整に係る会議・事務作業について

②報告事項

・農業改良課からの報告事項

・研究基本計画の検討経過と今後の予定について

・有機農業技術開発事業に係る試験推進体制について

・平成16年度道立試験研究機関研究費の追加について

・平成17年度研究開発の展開方向(案)について

・北海道立農試研究成果刊行物について

・その他

1)平成16年度の主な日程

2)その他

○臨時場長会議

期日：平成16年7月8日(木)13:30～17:30

場所：農政部大会議室

議題：

①協議事項

・道立農業試験場研究機関基本計画(仮称)について

2) 第2回場長会議

期日：平成16年7月20日(火)13:30～17:30

場所：かでの2・7 特別会議室

議題：

①報告事項

・平成17年度新規要求課題の予算枠について

②協議事項

・平成17年度新規要求課題の調整について

・研究基本計画の検討経過と今後の対応について

・その他

3) 第3回場長会議

期日：平成16年9月27日(月)13:30～17:00

場所：道庁別館 12階共用B会議室

議題：

①協議事項

・平成17年度新規要求課題の調整について

②報告事項

・農業改良課からの報告事項

・研究基本計画の検討経過と今後の予定について

・水稻育種における各場の分担について

・研究課題評価(事後・追跡)について

・平成16年度農試新規採用研究職員研修の実施について

・台風18号被害・技術対策支援チームの設立と被害解析について

・平成16年度下期の主な日程について

・その他

4) 第4回場長会議

期日：平成16年11月29日(月)13:00～17:00

場所：道庁赤れんが庁舎 2階1号会議室

議題：

①報告事項

・平成17年度新規要求課題について

・農業改良課からの報告事項

・クリーン農業技術開発推進事業及び有機農業技術開発事業に係る新規要求課題の調整について

・特定防除資材(特定農薬)の委託試験実施に係る考え方の変更について

・平成16年度農試新規採用研究職員研修の結果について

②協議事項

・北海道農業試験会議の運営の見直しについて

・平成18年度以降の重点研究課題について

1)研究基本計画の検討経過と今後のスケジュール

2)平成18年度以降の重点研究課題について

・その他

○臨時場長会議

期日：平成16年12月13日(月)9:30～12:00

場所：かでの2・7 特別会議室

議題：

①報告事項

- ・平成 18 年度以降の重点研究課題について

②協議事項

- ・場別・分野別研究分担関係の見直しについて
- ・平成 18 年度以降の技術開発目標について
- ・その他

5) 第5回場長会議

期日：平成 17 年 3 月 18 日(金)13：30～16：30

場所：かでの 2・7 720 研修室

議題：

①協議事項

- ・地域緊急課題候補の選定について
- ・第 18 回植物遺伝資源連絡委員会の協議事項について

②報告事項

- ・平成 17 年度に技術体系化チームが実施する課題について
- ・北海道立農業試験場研究基本計画について
 - 1)経過報告
 - 2)重点研究課題及び研究開発目標について
- ・今後の道立試験研究機関のあり方検討結果報告書(素案)について
- ・平成 17 年度道立試験研究機関研究開発方針について
- ・平成 17 年度研究職員研修事業に係る農試関係派遣候補について
- ・平成 17 年度の主な日程
- ・その他

(2) 研究調整会議

1) 第1回研究調整会議

期日：平成 16 年 4 月 19 日(月)13：30～

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

- ①平成 16 年度北海道農業試験会議(研究課題検討会議)の開催について
 - ②「平成 17 年度新規課題設定の考え方」について
 - ③特定防除資材(特定農薬)の委託試験実施に係る考え方について
 - ④有機農業技術開発事業に係る試験推進体制について
- 報告事項：
- ①北海道農業試験会議の各部会主査の指定及び副主査の指名について
 - ②平成 16 年度道立試験研究機関研究費の追加について
 - ③その他

2) 第2回研究調整会議

期日：平成 16 年 6 月 3 日(木)13：30～

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

- ①北海道農業情報ネットワークシステムを通じた問い合わせに関する対応について

報告事項：

- ①平成 17 年度新規予定課題の調整に係る会議・事務作業について
- ②平成 17 年度新規要求課題の予算枠について
- ③遺伝子組換え作物の栽培試験に係る実施条件検討会について
- ④北海道グリーンテクノ計画について
- ⑤道立農業試験場研究基本計画検討委員会第 2 回幹事会の報告
- ⑥その他
 - ・平成 17 年度新規課題設定の考え方について
 - ・平成 17 年度研究開発の展開方向について
 - ・その他

3) 第3回研究調整会議

期日：平成 16 年 8 月 2 日(月)13：30～

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

- ①北海道農業試験会議の運営の見直しについて

報告事項：

- ①平成 17 年度新規要求課題について
- ②その他

4) 第4回研究調整会議

期日：平成 16 年 10 月 4 日(月)13：30～

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

- ①北海道農業試験会議の運営の見直しについて

報告事項：

- ①特定防除資材(特定農薬)の委託試験実施に係る考え方の変更について
- ②平成 17 年度新規要求課題の調整について
- ③クリーン農業技術開発推進事業及び有機農業技術開発事業に係る新規要求課題の調整について
- ④中央農試における試験研究地域ニーズへの対応強化について
- ⑤研究課題評価(事後・追跡)について
- ⑥平成 16 年度北海道農業試験会議(成績会議)開催日程

について

⑦平成16年度下期の主な日程について

⑧その他

5) 第5回研究調整会議

期日：平成16年11月4日(木)10:00～12:00

場所：中央農試 大会議室

報告事項：

①第3回道立農業試験場研究基本計画検討委員会の開催結果について

協議事項：

①平成18年度以降の重点研究課題と技術開発目標の検討について

②場別・分野別研究分担関係の見直しについて

③今後のスケジュールについて

④その他

6) 第6回研究調整会議(拡大)

期日：平成16年11月25日(木)10:00～

場所：中央農試 講堂

協議事項：

①平成18年度以降の重点研究課題の検討について

②場別・分野別研究分担関係の見直しについて

7) 第7回研究調整会議(拡大)

期日：平成16年12月7日(火)10:00～

場所：中央農試 講堂

報告事項：

①平成17年度新規要求課題について

②クリーン農業技術開発推進事業及び有機農業技術開発事業に係る新規要求課題の調整について

③北海道農業試験会議の運営の見直しについて

④設計会議の開催日程について

⑤新技術発表会について

協議事項：

①場別・分野別研究分担関係の見直しについて

②平成18年度以降の技術開発目標について

8) 第8回研究調整会議

期日：平成17年1月11日(火)13:30～

場所：中央農試 研修室

協議事項：

①第18回植物遺伝資源連絡委員会における協議事項について

②品種育成に係る種苗の配付について

③平成17年度設計会議の開催場所について

報告事項：

①成績会議の開催について(最終確認)

②設計会議資料の印刷費の負担について

③「試験研究設計概要集」の著作権の取り扱いについて

④その他

(3) 北海道農業試験会議

1) 研究課題検討会議

○平成17年度新規課題設定の考え方

1 課題設定にあたっての基本方針

試験研究課題の設定にあたっては、「道立農業試験場新研究基本計画」に即しつつ、「平成17年度研究開発の展開方向」ならびに「北海道農業・農村ビジョン21」の視点を踏まえ、農業生産者、関係機関・団体、消費者などからの研究要望を考慮して、次の事項を基本方針とする。

(1) 北海道農業の競争力を強化するため、消費者や実需者ニーズの高度化・多様化に対応した、高品質で安全・安心な農畜産物の低コストかつ安定生産に寄与する品種及び栽培技術の開発を推進する。

(2) 北海道農業・農村の持続的発展を図るため、農業・農村の多面的機能や自然循環機能の維持増進に寄与する試験研究を推進する。

(3) 地域農業の振興を支援するため、農業改良普及センターや関係機関・団体等と連携し、現地実証に係る試験研究を推進する。

(4) 効率的な試験研究を推進するため、研究評価に基づいて課題の見直しや設定を行う。

2 新規課題の重点項目

(1) 地域水田農業ビジョンの実現を支える技術の開発

(2) 農畜産物への信頼性を高めるクリーンな技術の開発

(3) 有機農業を支援する技術の開発

(4) 地域農産物の安定生産・品質向上に係る技術の開発

(5) 環境負荷の低減技術と地域資源の有効活用技術の開発

部会の開催日程及び検討課題数

部 会	日 程	会 場	課題数
総 合	H16.6. 7	第2水産ビル	5
作物開発	H16.6. 8～9	プレスト1・7	18
花・野菜	H16.6. 8～9	第2水産ビル	19
畜 産	H16.6. 7～8	自治労会館	19
農業環境	H16.6. 9～10	第2水産ビル	22
クーン農業	H16.6. 8～9	第2水産ビル	11
生産システム	H16.6. 8～9	かでの2.7	9
農産工学	H16.6.10	第2水産ビル	6

2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。

部 会	普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合 計
作物開発	6 (6)	1 (1)	17	2	0	1 (1)	0	27 (8)
花・野菜	2 (1)	2	13	0	0	0	0	17 (1)
畜 産	12 (11)	9 (1)	12	3	1	0	0	37 (12)
農業環境	0	9	16	0	2	0	0	27
クーン農業	0	1	131	0	0	0	0	132
生産システム	3	8	89	1	1	0	0	102
農産工学	0	1	3	2	0	0	0	6
総 合	0	1	3	0	0	0	0	4
計 (品種・系統)	23 (18)	32 (2)	284	8	4	1 (1)	0	352 (21)

3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究課題について、平成17年度の設計を決定するための専門部会を平成17年2月28日から3月10日にわたり開催した。

各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。

部会	分科会	課題数
作物開発	稲	53
	豆類	89
	てんさい	49
	麦類・特用作物	100
	ばれいしょ・果樹	79
花・野菜		134
畜 産	畜産総合	57
	家畜育種・飼養・管理	43
	家畜衛生・バイオテック	38
	草地（品種・栽培）	107
農業環境		181
クーン農業		106
生産システム		116
	てんさい	5
農産工学		59
総 合		29
合 計		1, 245

(4) 地域農業技術センター連絡会議

1) 平成17年度地域農業技術センター連絡会議定期総会

日 時：平成17年2月22日 11:00～13:50

場 所：かでの2・7 720 研修室

出席者：32名

議 事：・平成16年度事業実績及び収支決算
・平成17年度事業計画及び収支予算(案)
・役員改選
・報告事項(ブロック会議)

2) 17年度地域農業技術センター連絡会議研究交流会

日 時：平成17年2月22日 13:00～16:00

場 所：かでの2・7 720 研修室

出席者：46名

内 容

・講演

「食料・農業・農村基本計画の中間論点整理と北海道農業について」ー地域農業技術センターに期待されるものー

(社)北海道地域農業研究所常務理事 黒澤不二男
・意見交換

話題提供

「道における試験研究と普及事業の体制見直しについて」

北海道農政部農業改良課主幹 茂木 悦雄

ディスカッション

「地域農業技術センターの活動強化について」

・その他

花・野菜技術センター研修生の募集

花・野菜技術センター主査(研修) 伏見 弘子

3) 16年度地域農業技術センター研究情報交換会

日 時：平成 16 年 9 月 9 日 13:30～9 月 10 日 12:00

場 所：十勝川簡易保険保養センターほか

出席者：43 名

内 容

・地域センターの活動報告

帯広市農業技術センター

帯広市農業技術センター課長補佐 名和 靖史

音更町農業試験研究センター

音更町農業試験研究センター嘱託専門技術員
山下 宗吉

・農試からの話題提供

ジャガイモそうか病の総合防除法

十勝農業試験場生産研究部環境栽培科 田村 元
牧草・飼料作物に対するふん尿施肥設計法

畜産試験場環境草部畜産環境科 渡部 敢

・講演

「産学官の連携事例と今後の展望について」

帯広畜産大学地域共同研究センター所長 岡本 明治

・現地農家視察

音更町 津島朗氏(大規模畑作)、帯広市 道下光男氏

(生分解性長いもネット堆肥化現地試験)

4) 16年度地域農業技術センター連絡会議活動

花き部会

・16年度(第5回)部会

期 日：平成 16 年 4 月 16 日

場 所：道庁赤れんが 2 階 2 号会議室

出席者：15 名

内 容：部会運営計画、試験研究課題の紹介、意見交換

・現地研修会

期 日：平成 16 年 9 月 7 日

場 所：旭川市

出席者：14 名

内 容：旭川市農業センターの試験内容紹介

旭川市内 2 農家視察

2. 情報システムの活用

(1) 北海道農業情報ネットワークシステム(Hao)の管理・運営

1) 利用状況

平成 16 年度末時点での Hao 登録ユーザ数は、個人 676、業務 771、合計 1,447 となった。

2) 電子メールの利用

平均月間利用数は、188 千通で、前年度と比べて約 3 割増加し、広く通信手段として利用され、業務の効率化が図られている。

3) ホームページの作成

Hao は農業技術情報広場、農業試験場・病虫害防除所、農業大学校、農政部、家畜保健衛生所、農業改良普及センター等のページから構成され、総掲載数は 2 万 7 千件以上となった。ホームページ全体へのアクセス回数は、平均月間約 348 万件であり、前年度比で 1.5 倍に増加した。

4) システムの更新

Hao の利用が増加し、回線が逼迫してきたこと、及びランニングコストの低減を図るため、インターネット回線をメガデータネッツから B フレッツビジネスプランに変更した。(5Mb → 100Mb)

電気料の低廉化を図るとともに中央農試内の円滑なデータ通信を行うため、LAN 配線の更新を行った。

5) 問い合わせへの対応

Q & A ボードへの 27 件の質問と電子メールによる 37 件の質問に対して回答した。専門的知識が必要な質問については専門の部会へ回答を依頼した。質問の内容は情報提供が 54 件、資料提供が 8 件、種子分譲依頼が 2 件であった。

(2) 営農指導支援システムの整備開発

本年は新たに「メッシュ気象データの集計と年次間比較」をメニューに追加するとともに、「水稻生育予測」に新たな品種として「ほしのゆめ」を追加した。

また、各試験場及び農政部の図書を効率的利用を促進するため、図書検索システムを開発し、オンラインで各

試験場及び農政部の図書を検索できるようにした。

(3) 中央農試システム運営委員会

1) 委員会の開催

本年は委員会を開催しなかったが、各部の委員と日常連絡を取り合い、場内ネットワーク運営の効率化を図った。

2) 中央農試ホームページの作成・更新について

中央農試トップページを刷新し、一般ユーザの利用促進をはかった。場長室のページを「農試からこんにちは」とし、次のとおり掲載した。

5月 着任あいさつ 「ウイルス」は百害あって一利なしの話

6月 田植え体験学習に参加して

7月 クリーン農業と有機農業

12月 うれしいメール

1月 「老後は田舎へ移住」のすすめ？

各部署ごとに適時ページを更新し、情報発信に努めた。

3. 図書・資料(平成16年4月～17年3月)

4. 印刷刊行物

資料名	発行年月	頁数	部数
北海道農業試験会議議事概要 設計会議 平成16年度	16. 6	135	240
北海道立中央農業試験場年報 平成15年度	16. 6	109	270
北海道立中央農業試験場事業実施計画書 平成16年度	16. 6	70	180
北海道立農業試験場新規課題実施計画書 平成16年度	16. 9	296	300
北海道立農業試験場集報 第86号	16. 5	93	620
北海道立農業試験場集報 第87号	16. 10	70	620
北海道立農業試験場資料 第33号	16. 11	215	760
北海道立農業試験場資料 第34号	17. 3	209	770
北海道農業試験会議議事概要 成績会議 平成16年度	17. 3	105	240

(1) 受入状況

資料名	購入	寄贈	合計
単行本(国内)	67	143	210
単行本(外国)	0	3	3
逐次刊行物(国内)	535	1,319	1,854
逐次刊行物(外国)	418	37	455

(2) 資料提供

場内	場外
963	14

(3) 製本

外注製本		自家製本
国内資料	外国資料	121
167	90	

(4) 図書資料購入費

単行本	国内逐次刊行物	外国逐次刊行物	製本	消耗品	計
1,320	820	5,816	316	86	8,358

ただし、各部署で別途購入分は除く。

5. 広報活動

(1) 平成16年度中央農試公開デー

テーマ 「農業とバイオテクノロジー」

日時：平成16年8月5日 10:00～16:00

場所：中央農試庁舎、果樹園、畑

主催：中央農試

後援：岩見沢市、栗沢町、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、JA いわみざわ、JA なんぼろ、JA 由仁町、JA ながぬま、JA くりやま、南空知広域農協連

協力：空知中央農業改良普及センター、空知南東部農業改良普及センター、空知南西部農業改良普及センター
来場者：528名(うち農家53名)

内容：

- ・農業とバイオテクノロジーシンポジウム
基調講演「北海道農業の発展に必要なバイオテクノロジー」

北海道グリーンバイオ研究所長 飯塚 敏彦

研究成果紹介：4件

パネラー

石尾 秀昭 北海道指導農業者

稲 一雄 栗山消費者協会会長

アドバイザー

水島 俊一 中央農業試験場場長

コーディネーター

新橋 登 中央農業試験場農産工学部長

- ・試食コーナー(ばれいしょ、お汁粉等)
- ・いも堀り体験
- ・畑、果樹園見学
- ・研究室公開・成果展示
- ・なんでも相談(土壌・病害虫の診断等)
- ・子供向けコーナー(お米の脱穀・もみすり・精米体験、お米の試食)
- ・農業機械施設の展示・実演
- ・地元農産物・加工品の展示即売会

(2) 平成17年度道央圏農業新技術発表会

日時：平成17年2月18日 13:00～16:30

場所：栗山町カルチャープラザ EKI

主催：中央農試

共催：花・野菜技術センター、植物遺伝資源センタ

一

後援：栗山町、栗山町農業協同組合

出席者：202名(うち農家98名)

発表課題：

○大豆新品種候補

- ・耐冷性が強く機械収穫適性の高い「十育237号」

中央農試作物開発部畑作科 田中 義則

○果樹の新品種候補と品種特性

- ・大玉で耐寒性の強いおうとう「HC1」

- ・プルーン、ブルーベリーの品種特性

中央農試作物開発部果樹科 村松 裕司

○その他新品種候補

- ・粘りが強く食味の良い水稻「北海292号」

- ・早生・耐冷性で土壌病害に強い小豆「十育147号」

- ・チップカラーに優れるばれいしょ「北海89号」

- ・早生多収でサラダ適性のあるばれいしょ「十育1号」

中央農試作物開発部副部長 前田 博

○メロンえそ斑点病の防除対策と抵抗性台木育成

花・野菜技術センター野菜科 八木 亮治

○高粉質かぼちゃの省力栽培法と非破壊品質評価

花・野菜技術センター野菜科 杉山 裕

○ほうれんそう・こまつなのタどりによる硝酸塩低減

花・野菜技術センター園芸環境科 藤倉 潤二

○施設園芸ハウスの土壌消毒現地事例

空知南東部地区農業改良普及センター 松本 勇

○浅耕逆転ロータリーシーダーを用いた大豆播種技術

北海道農業研究センター総合研究第1チーム

大下 泰生

○転換畑の土壌物理性改善と追肥による大豆確収対策

中央農試農業環境部環境基盤科 塚本 康貴

○先端技術を活用した小麦適期収穫システム

中央農試農業環境部主任研究員 志賀 弘行

○小豆の機械収穫早限と乾燥調製特性

中央農試生産システム部機械科 原 圭祐

○エライザ法による生麦のDON分析技術

中央農試農産工学部農産品質科 加藤 淳

6. 場内研修

趣旨：中央農試研究職員の資質向上を図るため、外部講師による講演会を開催する。

(1) 第1回場内研修

日時：平成16年5月17日 15:30～16:30

場 所：中央農試大会議室
講 師：北海道大学大学院研究科教授 大崎 満
演 題：「根圏、根域研究による北海道農業の可能性」
主 催：中央農試

(2) 第2回場内研修

日 時：平成 16 年 9 月 28 日 16：00～17：00
場 所：中央農試講堂
講 師：拓殖大学短期大学環境農学科長 相馬 暁
演 題：「北海道農業の展望と方向性」
主 催：中央農試